

2011年度

科目名	文化心理学			
担当教員	林 進			
配当	人社2		コード	52041
開期	後期	講時	金曜日2限	単位数 2
授業テーマ	人間の心理と文化の比較研究			
目的と概要	人間の心と文化の相互関係を考える。とくにフロイトおよびフロイト以後の心理学が現代社会・文化に与えた影響を、あるいは逆に、現代社会・文化が心理学に与えた影響を検討しながら、現代人と現代社会の問題を考察する。映画ビデオ等も適宜活用しながら解説する。			
成績評価法	学期末のレポート(60%)と平常点(40%)で評価する。			
テキスト	プリント配布			
参考書	授業の中で紹介する			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	知への愛と欲をもって授業に臨むこと			
講義計画				
第1回	オリエンテーション——ヒステリー文化とナルシズム文化と鬱（メランコリー）文化			
第2回	『ターミネーター』を見て心身問題を考える（1）			
第3回	『ターミネーター』を見て心身問題を考える（2）			
第4回	ヒステリーとナルシズムの狭間で——三島由紀夫『音楽』とトーマス・マン『ヴェニスに死す』			
第5回	エス（無意識）が人間を動かすのか？			
第6回	狂気と芸術——レオナルド・ダ・ヴィンチ『モナリザ』、ムンク『叫び』、ダリ『記憶の固執』			
第7回	鬱（メランコリー）の時代（1）——夏目漱石『こころ』（1）			
第8回	鬱（メランコリー）の時代（2）——夏目漱石『こころ』（2）			
第9回	古代悲劇と精神分析——ソフォクレス『オイディプス王』とエディプスコンプレクス			
第10回	多重人格（1）——ヒッチコック『サイコ』（1）			
第11回	多重人格（2）——ヒッチコック『サイコ』（2）			
第12回	ボーダーライン（1）——『危険な情事』（1）			
第13回	ボーダーライン（2）——『危険な情事』（2）			
第14回	政治と言語と心理学——ヒトラーの権力への意志・大衆操作の言語と映像			
第15回	まとめ			